2015 年 7 月 25 日（土）オープンキャンパス開催報告

〇タイムスケジュール

森林科学科	**学科ガイダンス ①要指定席券**	① 9:30～10:20 ②10:50～11:40 ③12:10～13:00	稲盛記念会館1階 ①105講義室 ②106講義室 ③105講義室	・学科紹介
	模擬授業 高原光教授	①10:50～11:40	稲盛記念会館1階 105講義室	「京都盆地の森の移り変わり－人々の生活が森に与えた影響」 平安時代以降、都として多くの人々が集まってきた京都盆地周辺の森林は、人々の生活の変化とともに大きく変化してきた。このような過去の森を調べる方法の一つに花粉分析という方法があります。湿原などの酸素の少ない環境下では植物の花粉が何十万年でも保存されます。これを調べて当時そこに拡がっていた森林の姿を知ることができるのです。さらに、歴史時代には絵図なども過去の森林を知る重要な資料です。これらを利用して、皆さんに過去の森林の姿を紹介します。
	模擬授業 古田裕三教授	②12:10～13:00	稲盛記念会館1階 106講義室	「木質資源の利用は地球環境を守る！」 木を切って利用することは環境によくないこと…皆さんはそんな間違った考え方をしていませんか？実は、公共建築物は原則木造で建てて、身の周りの家や机や文具なども極力木製品を使うように努めなければいけないという法律もあるんですよ！この授業では、木を切って使うことが地球環境を救う理由について、地球温暖化の視点も交えつつ概説するとともに、最先端の木材研究や木材の利活用技術を紹介します。古くて新しい材料、それが木材です。
	模擬授業 田中和博教授	③13:30～14:20	稲盛記念会館1階 105講義室	「情報化時代の森林管理技術　GISからLiDARまで」 地球温暖化が進行する中で、森林の役割はとても重要です。世界的に見れば減少している森林ですが、日本では、管理が放棄されている森林も多くあり、水土保全機能の低下などが懸念されています。近年は、衛星リモートセンシング（遠隔探査）技術を用いて森林をモニタリングして、そのデータをGIS（地理情報システム）で解析します。さらに、LiDAR（航空機レーザー計測）を使って、個々の樹木を高精度に調査しています。
	学科アラカルト	10:30～16:00	3号館3階会議室 及び3357号室	・学科展示と教員との懇談・相談コーナー
		①11:50～12:40 ②13:10～14:00 ③14:30～15:20	稲盛記念会館1階 ①105講義室集合 ②106講義室集合 ③105講義室集合	・研究室ツアー（3号館3階、6号館2階、学内テント他）
		高校生を中心とした野外セミナー「大学の森・森林科学野外実習コース」を大枝演習林において7月26日に実施します。詳しくは森林科学科または附属演習林のホームページをご覧ください。		

ガイダンス

ガイダンス（学生の説明）

模擬授業

学科展示

学科ツアー（水理実験棟）

演習林森なかまテント